

[障害者就労継続支援 B 型事業（工房ナザレ）]

① 就労継続支援 B 型事業の利用者定員、職員数等

（利用者）

定 員	30人
実利用者数	26人
1日平均利用者数	24.8人（車いす利用者1名）
途中退所者	3人

（職員）

職 員 数	4人（管理者1名、サービス管理者1名を除く）
人員配置基準	7.5人対1人

2018年3月31日現在

② 就労継続支援 B 型の利用者の1日の流れ

利用者さんは9時30分からのラジオ体操、その後の朝のミーティングで当日の流れや自分のする作業を確認し、それぞれの作業に入ります。

最近、グループ作業ではリーダーとなる利用者が皆をリードしながら作業を続け、時間内に終わっています。作業の準備、洗い物や片づけ等、周りの利用者を見て会いに自分から進んで行動する利用者さんも増えました。

お昼休みの時間は各々コミュニケーションをとられ、トランプやゲームで楽しまれています。

午後の作業が終わったらチームに分かれて掃除をします。トイレ掃除や階段、掃き掃除等1週間ごとに掃除の分担場所を変えています。

午後3時30分で終礼、挨拶をして利用者さんの1日が終わります。

工房ナザレは利用者の皆さんの仕事の場、自立するための訓練の場として、利用者とスタッフが力を合わせて製菓、製パン作業、街頭販売に励んでいます。

一人ひとりの成長は個々それぞれ違いますが自分のペースで成長し、できることが増えていると実感しています。

③ 販売についてのご報告

授産事業の売り上げは総計17,533,812円でした。

経費を差し引き毎月の利用者さんの給料の支払いと年2回の賞与のための積み立てもできました。

今年度は10か所の施設や学校に定期的販売に行かせていただき約200万円、1回平均で約12,000円の売り上げをいただきました。

納入させていただいております淀川キリスト教病院では約2,300,000円、月平均で約190,000円、株式会社大商様は月2回の納入で500,000円、毎年参加させていただいております株式会社大阪ガス様主催の御堂筋ふれあいバザーを含め、地域のバザーや福祉団体のバザー等32回のバザーに参加し約580,000円を売り上げています。

新しい試みとしてインターネットを利用した販売も昨年末より始め、好評をいただいております。こちらは月に20万円前後売り上げております。

紙すきカレンダーの総販売数は2,600冊であります。今年度も大阪中央ロータリークラブ様をはじめ多くの関係各社様にご協力いただいたことを感謝いたします。

また総売り上げのうち、街頭販売の売り上げがおおよそ900万あり、利用者とスタッフの日々働きの積み重ねの結果だと実感しております。

29年度の販売活動は概ね好調でありましたが、商品原価の高騰も続いておりフリーダム創生として販売する商品の価値を上げるためにも、クッキーの袋を現在使用中の無地袋からデザイン性の高い袋に変え販売を始めました。他業者の商品と差をつけ、更なる販売力に繋がると考えます。

④ 行事等の報告

フリーダム創生では毎年3事業全体で行う年中行事があり、大同生命様にご協力をいただいている外出行事や障害者自立キャンプをはじめ、スイカ割や餅つき、東淀ライオンズクラブ様主催でのスポーツ大会、グローリークリスマスを行いました。

4月には、歌手の森祐理さんをお招きしての創立記念コンサートもありました。

また工房ナザレ独自の新入所者の歓迎のプログラムとして‘大阪くらしの今昔館’に行き交流を深めました。

毎日集中して作業を続け、時にリラックスする日を設け、日ごろの作業を労うことで毎日の仕事にメリハリをつけることができましたと考えます

⑤ まとめ

就労継続支援B型は利用者に対してスタッフの数は多くはありませんが、利用者一人ひとりに合った作業を見極め提供し、利用者の成長を促す支援を心がけました。

販売では日々の街頭販売に加え、更なる営業での販売場所の獲得、インターネット活用の販売の充実で実績を上げることを実行し、利用者の給料アップに繋がっていきたいと考えます。